

お母さんのひろば

渋川市小中学校PTA連絡協議会母親委員会は、市内23小中学校PTAの女性代表で構成されています。母親委員会では、興味・関心のあるテーマを協議して、年度ごとの事業を実施しています。今年度は、「渋川市の食の安全」をテーマとして研修会を開催しました。今年度の活動をこの「お母さんのひろば」でお知らせします。

平成30年度の活動

群馬県PTA家庭教育研究集会

日時：平成30年11月2日（金）
会場：群馬県生涯学習センター

広報紙

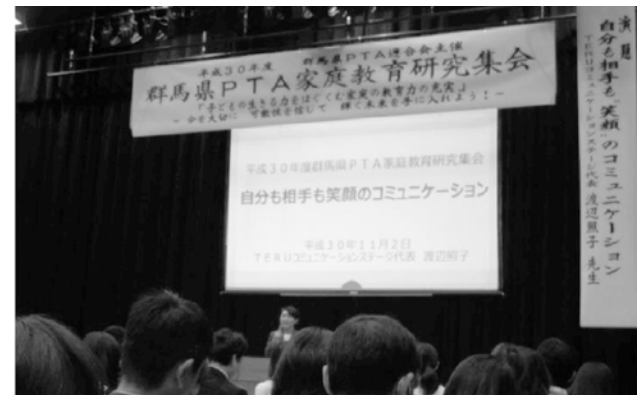
「お母さんのひろば」（本紙）を年1回発行

研修会

日時：平成30年12月14日（金）
内容：講習 「農産物ブランド『しぶせん』について」
講師：渋川市役所農林課職員
収穫体験 かわしまファーム
給食試食 南部学校給食共同調理場



群馬県PTA家庭教育研究集会



11月2日（金）に群馬県PTA家庭教育研究集会が群馬県生涯学習センターで開催され、渋川市からは15名が参加しました。

この研究集会は、子どもに関する様々な問題に対応するため、保護者と教師が子どもたちの心と体の健やかな成長に向けた取り組みについて情報交換や研究協議を行い、共通理解を図るために県P連が主催し、県内から約300名が集まりました。

全体会は、ICFプロ認定コーチでTERUコミュニケーションズステージ代表の渡辺照子先生から「自分も相手も“笑顔”のコミュニケーション」と題して講演があり、笑顔になるコミュニケーション術をグループワークを交えながら楽しく学ぶことができました。

全体会の後は、「食育」「体力づくり」「セーフネット」「いじめ」「生活習慣」の5つの分散会にわかれ、「子どもの生きる力をはぐくむ家庭の教育力の充実」を目指し、様々な視点から子どもに関する問題について意見交換がされました。子どもたちが心豊かにたくましく育っていくためには「家庭の教育力、親子の関わり」が大事だと改めて感じました。

◆◆◆研修会報告◆◆◆

12月14日（金）に母親委員会研修会を開催しました。今年度はテーマを「渋川市の食の安全」として、講習と収穫体験、学校給食の試食を行いました。

まずは、しぶかわ出前講座から「農産物ブランド『しぶせん』について」の講習でした。『しぶせん』とは「渋川市選別農薬農法」の愛称で、環境や健康への影響が心配されている農薬を使わずに農作物を作る農法のことです。渋川市では、安全・安心な野菜を生産するため、全国に先駆けて取り組みを始めています。また、しぶせん野菜は、子どもたちが普段食べている学校給食にも積極的に使われているとのことでした。子どもたちの食の安全について食材からも考えられていることが分かり安心しました。



講習の後は、かわしまファームさんの農場へ行き、実際に『しぶせん』で作られたネギ・大根などの野菜を収穫させていただきました。「子どもたちに安全で美味しい野菜を食べてもらいたい」という強い熱意でしぶせん野菜を作っている農家さんから直接お話を聞いて、苦勞も多くなか子どもたちのために頑張っていることにとても感謝したいと思いました。



次に、南部学校給食共同調理場を訪れ、学校給食の試食をしました。渋川市では、給食に使われている野菜の39%の品目が地場産（県内）であるとのこと、しぶせん野菜も合わせて子どもたちが地域の物を食べられるよう努力されていることが分かりました。栄養面についてもしっかりと配慮がされていました。この日食べたみそ汁にはたくさんの野菜が入っていてバランスのとれた食事、味もとても美味しかったです。ご馳走様でした。また衛生面も徹底的に管理がされていて良かったです。安心して給食を出していただける環境をありがたく思いました。

